

DAIWA SALTIGA シリーズ・CATALINA シリーズ用 BB パワーハンドル グリップ単体モデル取扱説明書

本製品は下記のダイワ社製リールにのみ適合いたします。

SALTIGA シリーズ

4000. 4500. 5000. 6000.

6500EXP 6000GT DOG FIGHT

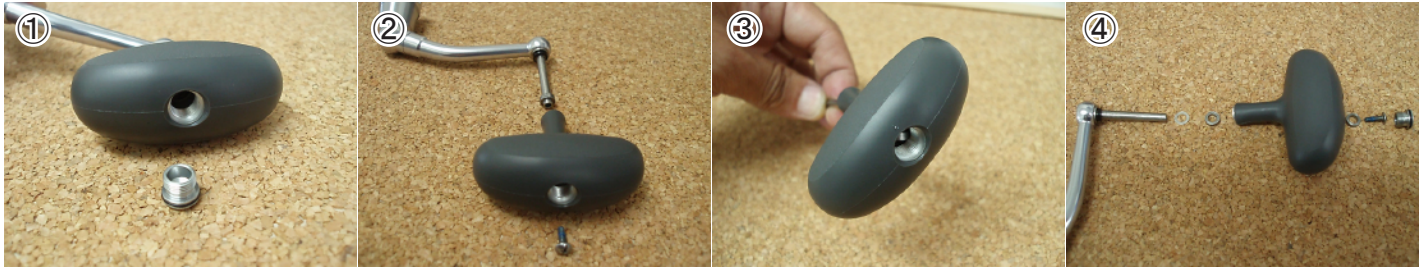
SALTIGA BLAST シリーズ

4000. 4500

CATALINA シリーズ

4000. 4500

取り付け方法



1. ノーマルグリップの中央にあるキャップをマイナスドライバーで、取り外します。
2. 内部にハンドルグリップの固定ボルトがあるので、プラスドライバーで取り外します。
3. ハンドルグリップを引き抜くと、ハンドルグリップ内に2つ収まるベアリングうちの上側のベアリングがグリップ内に残るので、これをボールペンの芯などの固くない細い素材で押し出しておいてください。
4. ハンドルグリップを構成しているパーツ全部でこれだけ。このうちシム（遊び調節用の厚みの薄いワッシャー状のもの）は基本的に使用しません。



5. ノーマルグリップに入っている二つのベアリングをこの順番でパワーグリップに組み込みます。
ベアリング本体には粘土の低い高級グリススプレーを吹き付けておくとベアリングが長持ちします。
錆びているベアリングは必ず新品に交換してから組み付けてください。
6. ベアリングを収めるときはボールペンのお尻などで軽くつつきながら入れます。
ドライバーなどで強く叩いて入れるとベアリングが故障することがあります。
7. 組み付け後、キャップを締める前に、グリススプレーをひと吹きしてください。
8. パワーグリップのキャップはドライバーではなく、5円玉か10円玉を使って締めたほうが、傷が入りにくいです。
最後に回転を確認して完成ですが、ダイワ社のハンドルグリップ基部にはゴム製の防水パーツが取り付けられているためグリップ回転は滑らかではありませんが、この状態で正常です。

日常のお手入れ

釣行から戻った場合は、キャップを外して、塩分を確認し、必要ならばCRC666の様な防錆潤滑スプレーを吹きつけておいてください。
遠征釣行の後や最低半年に一度はグリップを外して潤滑スプレーで塩分を流し出し、低粘度の高性能グリスをベアリングやシャフトグリップのベアリングハウジングに吹きつけ再組み付けしていただくとベアリングを長持ちさせることができます。
ベアリングが錆びて異音が出たり、回転がおかしいなどの症状が出た場合はベアリングの交換を行ってください。

ご不明な点は弊社までお問い合わせください

MC works'

<http://www.mcworks.jp/index.html> E-mail: mail@mcworks.jp

〒812-0892 福岡市博多区東那珂 2-13-28 3F

TEL 092-432-6158 FAX 092-481-3923